



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月15日

上場会社名 株式会社フレアス 上場取引所 東
 コード番号 7062 URL https://fureasu.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)澤登 拓
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務経理部長 (氏名)佐藤 真悟 (TEL)03-6632-9210
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|---|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 2,702 | — | △66 | — | 43 | — | 14 | — |
| 2020年3月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 14百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 —百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | 6.07 | 6.00 |
| 2020年3月期第3四半期 | — | — |

(注) 当社は、2021年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2021年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 3,243 | 1,513 | 46.7 |
| 2020年3月期 | — | — | — |

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,513百万円 2020年3月期 —百万円

(注) 当社は、2021年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2021年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|-----------------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 |
| 通期 | 3,881 | — | △41 | — | 66 | — | 17 | 7.40 |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2021年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

3. 当予想は、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大の程度や収束の時期などにより大きく変動する可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、すみやかに業績への影響をお知らせいたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(注) 特定子会社の異動には該当いたしません。が、株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得したこと
に伴い、当第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 2021年3月期3Q | 2,332,600株 | 2020年3月期 | 2,328,600株 |
| 2021年3月期3Q | 一株 | 2020年3月期 | 一株 |
| 2021年3月期3Q | 2,330,985株 | 2020年3月期3Q | 2,322,312株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2020年6月1日付で株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得し新たに連結子会社としたことに伴い、第1四半期連結会計期間より初めて四半期連結財務諸表を作成しております。このため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いていたものの、米国の保護主義的姿勢の高まり等に加えて、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済活動の停滞から、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社グループが属する在宅マッサージ業界及び訪問看護業界におきましては、少子高齢化が加速する一方で、医療機関における病床数の減少が見込まれるとともに、特別養護老人ホーム等の介護施設の待機者数は、年々増加傾向にあり、政府による地域包括ケアシステムの構築の推進活動と相俟って、在宅療養の重要性がますます高まってきております。

このような状況のもと、当社グループが訪問してサービス提供する対象の一部には介護施設が含まれておりますが、多くの介護施設では新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、外部者の施設への立ち入りを一時的に禁止するなどといった措置がとられております。このため、利用者数及びサービス提供回数が前年比で大きく減少いたしました。一方で、緊急事態宣言が発出されていない期間及び地域については、再開する介護施設も増えつつあります。

また、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に達する2025年頃には、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者、5人に1人が75歳以上の後期高齢者になるといういわゆる「2025年問題」の到来が見込まれる環境下において、介護施設等の法人営業を強化することによるサービス利用者のさらなる増大を通じて、「2025年問題」の解決企業として当社グループが事業を遂行していくことを実現すべく、株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得し子会社化することで、マーケットシェア及びサービス提供エリアがより一層拡充いたしました。

なお、株式会社星野リゾートとの業務提携につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、株式会社星野リゾートグループが運営する宿泊施設への宿泊客の減少に伴って当社サービスの利用者が減少したことに加えて、新型コロナウイルスへの感染防止を図るために、2020年4月16日以降は当社サービスを中止せざるを得ず、今後の売上回復には相応の期間がかかることが見込まれたため、これまで本サービスに投下してきた経営資源の適正な再分配を図るべく、2020年6月30日付で業務提携契約を合意解約いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,702,535千円、営業損失は66,760千円、経常利益は43,290千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,160千円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、株式会社オルテンシアハーモニーを新たに連結子会社としたことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「マッサージ事業」から、「マッサージ直営事業」「マッサージフランチャイズ事業」に変更しております。

① マッサージ直営事業

マッサージ直営事業では、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、多くの介護施設で外部者の施設への立ち入りを一時的に禁止された影響による減収が続いておりましたが、緊急事態宣言が解除された期間及び区域に関しては、介護施設に向けてサービスの再開を訴求してまいりました。また、サービス休止中に筋麻痺や関節拘縮といった症状が進んでしまった利用者に対して、日常生活動作能力（ADL能力）の向上を目的として、従前よりも高頻度なサービス提供を提案することで、サービス提供回数の増加に取り組んでまいりました。また、介護施設への営業を強化するなど、引き続き当社グループのサービスの認知度向上を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は2,224,467千円、セグメント利益は327,913千円となりました。

② マッサージフランチャイズ事業

マッサージフランチャイズ事業は、株式会社オルテンシアハーモニーの子会社化に伴い、これまでの「フレアス在宅マッサージ」ブランドに加えて、「レイス治療院」ブランドによるフランチャイズ展開を新たに開始いたしました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新規加盟店のための研修会を一時的に休止してお

りましたが、テレビ会議システムを利用するなど、リモートでの研修会を開催いたしました。これらにより、フランチャイズ加盟店は190拠点の純増となり、当第3四半期連結会計期間末における加盟店数は、218拠点となりました。

以上の結果、売上高は260,032千円、セグメント利益は60,406千円となりました。

③その他の事業

その他の事業セグメントに含まれる主な事業である訪問看護事業は、新型コロナウイルス感染拡大による大きな影響はなく、地域のケアマネジャーに対する営業の強化を通じて、当社グループのサービスの認知活動を推進してまいりました。

以上の結果、売上高は218,035千円、セグメント利益は14,499千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,588,111千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が1,189,531千円、売掛金が926,525千円及び立替金が394,767千円であります。

また、固定資産は、655,785千円となりました。主な内訳は、のれんが249,596千円、契約関連無形資産が286,538千円及び投資その他の資産が66,815千円であります。

この結果、総資産は3,243,896千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は899,852千円となりました。主な内訳は、短期借入金が302,420千円、1年内返済予定の長期借入金が277,732千円及び流動負債のその他が216,141千円であります。

また、固定負債は830,556千円となりました。主な内訳は、長期借入金が542,856千円及び社債が110,000千円であります。

この結果、負債合計は1,730,408千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,513,487千円となりました。主な内訳は、資本金が290,394千円、資本剰余金が280,394千円及び利益剰余金が942,698千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

依然として新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通せず、不透明な事業環境が続く中、今後の業績につきまして、様々なリスクを加味したシナリオを複数立案して影響の検討を行っておりますが、2021年3月期の業績予想につきましては、2020年8月13日付「2021年3月期第1四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から修正の必要性はないものと判断しております。また、上記の連結業績予想におきまして、新型コロナウイルス感染症に係る業績への影響は、少なくとも2021年3月期中は継続していくものと想定しております。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) | |
|-------------------------------|-----------|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | |
| 現金及び預金 | 1,189,531 |
| 売掛金 | 926,525 |
| 貯蔵品 | 6,647 |
| 立替金 | 394,767 |
| 未収還付法人税等 | 14,748 |
| その他 | 57,391 |
| 貸倒引当金 | △1,500 |
| 流動資産合計 | 2,588,111 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | 17,911 |
| 無形固定資産 | |
| のれん | 249,596 |
| 契約関連無形資産 | 286,538 |
| その他 | 34,923 |
| 無形固定資産合計 | 571,057 |
| 投資その他の資産 | 66,815 |
| 固定資産合計 | 655,785 |
| 資産合計 | 3,243,896 |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 短期借入金 | 302,420 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 277,732 |
| 未払金 | 67,065 |
| 賞与引当金 | 36,492 |
| その他 | 216,141 |
| 流動負債合計 | 899,852 |
| 固定負債 | |
| 社債 | 110,000 |
| 長期借入金 | 542,856 |
| 退職給付に係る負債 | 24,099 |
| その他 | 153,600 |
| 固定負債合計 | 830,556 |
| 負債合計 | 1,730,408 |

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2020年12月31日)

| | |
|---------|-----------|
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 290,394 |
| 資本剰余金 | 280,394 |
| 利益剰余金 | 942,698 |
| 株主資本合計 | 1,513,487 |
| 純資産合計 | 1,513,487 |
| 負債純資産合計 | 3,243,896 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日) |
|------------------|--|
| 売上高 | 2,702,535 |
| 売上原価 | 1,549,155 |
| 売上総利益 | 1,153,379 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,220,140 |
| 営業損失(△) | △66,760 |
| 営業外収益 | |
| 助成金収入 | 116,671 |
| その他 | 3,940 |
| 営業外収益合計 | 120,612 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 8,906 |
| その他 | 1,654 |
| 営業外費用合計 | 10,560 |
| 経常利益 | 43,290 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 0 |
| 減損損失 | 5,005 |
| 特別損失合計 | 5,005 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 38,285 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 14,743 |
| 法人税等調整額 | 9,381 |
| 法人税等合計 | 24,125 |
| 四半期純利益 | 14,160 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 14,160 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|-----------------|--|
| 四半期純利益 | 14,160 |
| 四半期包括利益 | 14,160 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 14,160 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りに用いた仮定は、直近の新型コロナウイルス感染症拡大の状況や経済、市場動向を踏まえ、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)の記載から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 調整額 (注)2 | 四半期連結財 務諸表計上額 (注)3 |
|-----------------------|-------------|------------------|-----------|-------------|-------------|--------------------------|
| | マッサージ 直営 | マッサージ フランチャイズ | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,224,467 | 260,032 | 2,484,499 | 218,035 | — | 2,702,535 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 2,224,467 | 260,032 | 2,484,499 | 218,035 | — | 2,702,535 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 327,913 | 60,406 | 388,319 | 14,499 | △469,580 | △66,760 |

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問看護事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「マッサージ直営」セグメントにおいて、一部の事業所について当初想定していた収益及び費用削減が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては5,005千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社オルテンシアハーモニーを新たに連結子会社としたことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「マッサージ事業」から、「マッサージ直営事業」「マッサージフランチャイズ事業」に変更しております。